

目 次

ごあいさつ	1
(第27回定時株主総会招集ご通知添付書類)	
事業報告	2
事業報告には、ご参考としてグラフ、写真等を加えております。	
連結貸借対照表	27
連結損益計算書	28
連結株主資本等変動計算書	29
連結注記表	30
連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本	36
連結計算書類に係る監査役会の監査報告書 謄本	37
貸借対照表	38
損益計算書	39
株主資本等変動計算書	40
個別注記表	41
会計監査人の監査報告書 謄本	44
監査役会の監査報告書 謄本	45

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループの経営に一方ならぬご支援をいただきまして、誠に有難く心から御礼申しあげます。



当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費や企業収益などの改善により、緩やかな回復傾向が続きました。このような状況の中、当社グループは、「グループ経営構想V ～限りなき前進～」のもと、鉄道事業や生活サービス事業、Suica事業を中心に様々な施策を展開し、「変わらぬ使命」と「無限の可能性の追求」という経営の重要な柱を着実に推し進めてまいりました。

また、昨年10月には、経営構想の実現に向けた取組みを加速させるため、今後特に力を込めて推進を図る項目として、「今後の重点取組み事項」を策定いたしました。鉄道という社会インフラを担う企業として、安全・安定輸送や快適なサービスの提供に向けた日々の業務を着実に遂行し、その上で中期的な観点から、「今後の重点取組み事項」を推進し、さらなる成長をめざしてまいります。

今年度については、新たな安全5ヵ年計画「グループ安全計画2018」のもと、グループ全社員で「究極の安全」に向けた取組みに挑戦するとともに、年度末に控える北陸新幹線金沢開業、上野東京ライン開業という二大プロジェクトを着実に推進してまいります。加えて、輸送品質の向上や地域の活性化、技術革新やグローバル化などの取組みを加速し、伸びはじめた変革の芽を力強く成長させるとともに、社員の意欲に応える機会の拡大と技術・技能の継承に重点的に取り組み、株主の皆さまのご負託に応じてまいります。

株主還元につきましては、総還元性向33%を目標としており、引き続き、安定的な配当と柔軟な自己株式の取得に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの経営につきまして何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長

富田 哲郎